

京都西北ロータリークラブ
2012～2013 年度

会長 西村 篤編集

島崎俊夫会員語録

ただ乃路人

路傍の呟き

京都西北ロータリークラブの皆様へ

高齢には、良い事よりも頭を掻く事が多く、ニコニコのチャンスは
次第に狭くなります。そのコメントは、良い事を呼び寄せる思いは、
そして小生の別名の如く、路傍の夢となって行きました。
うつつの駄文が貴重な週報の紙面を汚す不躰を、どうぞ
寛恕賜わります様に、多士済々の当クラブに席を置き
皆様の発散する中の広い文化の多様さ、年代層による
精神作用の多彩・絢爛さ、恵まれた上質な人間社会の
環境に浸る心地良さ、小生も86、若者に云わせた、化石世代と、
戦前・戦中・戦後を通した人間の戯言も、どうぞお許しを。
西村 篤 バスト会長のご高配、お平敷に、又当クラブの
住み心地良さに対しても、心から感謝申し上げます。

京都西北RC会員 島崎 俊夫

2013. 10. 吉日

親子共通のスピリット

「親が元気なら、子も元気に育つ」6月23日 ACT 3名の卒業例会、華やかで嬉しい、このグループは、全くの白紙から立ち上がった会員達、親会員を始め、多勢の方から祝福された。挨拶に感涙^{かんるい}の声で“西北アクトに在籍して本当に良かった”と聴衆に何度も語りかけた。しかし先ず自分に言い聞かせよ。これだけ多くの歓送者に来場頂く魅力あるクラブに作り上げた自分達仲間同志の今迄の努力の事を、自分達1人1人が魅力ある人間性を身に付けた事を。気が付かない間に貴君達は若者としての素晴らしい人間像を持つに至った。そして、次の後輩達に、この魂を引き継いでいく事を誓ってほしい。そして又、いつかは、ロータリアンの一員になる事も心の一隅に、秘めておいてほしい。卒業生は、心に大きな勲章がついた。「子が元気に育つには、親が元気であらねばならない」わが西北ロータリークラブは、親の元気さが、十分に発揮されました。期の始めに当たって、今後も革新的な、新鮮なクラブとして若々しく進んで行きたいものです。

第1758回例会（2012年7月11日） ニコニコボックスより

前例の超越

環境と言えば Green と返し、色彩はいろいろと国民性、心に拘^{かか}わる話の多いもの。黒白をつけると言いますが、日本人は中庸^{ちゅうよう}、いや曖昧^{あいまい}になり勝ちです。原発行政に、グレーゾーンなどありえません。

「赤と黒」とはスタンダール（佛）18世紀の小説（略）で赤は軍服、黒は僧衣を表すとか。赤くて赤い、フランスの赤、ドイツのエンジ的赤、英国は赤ワインの赤、日本は——日の丸の赤。黒の服を頼んだら、5種類の黒い布が出てきた。そして赤染めの上に黒を染める紅下黒染め^{べにしたくろぞ}と言って一番鮮やかだと、成程と納得。そこでいろいろの話、色彩の事。ずっと昔の話をいたします。

従来、この掌^{てのひら}に乗る位の金属の品物は黒が常識でありました。使われている世界中で皆黒色でした。それを赤色に変えてみよう^{しわざ}と決心しました。これは正に超異端的な仕業に見える事態でした。たかが色とは言え、何事によらず、いろ事は黒白が着け難い事態。けれども「前例が無いからやってみよう」の結果は啞然・驚嘆^{あぜん きょうたん}すべきものであったのです。人生いろいろ 又。

第1759回例会（2012年7月18日）ニコニコボックスより

親父の古時計

家の柱時計が、すぐ働くのを止めます。振り子も、暑さで参ったらしい。涼しくなる迄、休んでいるか。私も、そうしたい。

第1760回例会（2012年7月25日）ニコニコボックスより

どこへ、日本人の情愛

色彩の話をしていました。R.Tと言う男は忽然とやって来た。彼に語ってもらう筈^{かた}でした。所が気になるのが、いじめの事です。「いじめで自殺」^{じつたい}との英語は、10年前から英和辞典に出ていましたが、実際はもっと以前からの実態^{けんざいか}が顕在化したのです。つまり、

ずっと以前から、なにも解決していないのです。原発に向き合う時と同様です。無責任、見ても見えぬ、知っても知らぬ、起こっても知らぬ、事故は無い、地震も無い、津波も無い。

自分は死なない、200年生きるつもりか。たった70年前日本の若者は、家族を守る国を守ると言って、特攻に散った。今、世の親は、子の身も心も抱きしめて育てているか、学校では他人の子供であっても、命がけで守っているか。何だか、日本人の顔が弛緩^{ちかん}していないか。

勿論、われわれの周囲にはこう言う人はいません。しかし少数派であっても現日本では、も早許せない事態であります。根本的解決は、日本の将来にとって焦眉^{しょうび}の急であります。子供達のこの現象は、大人達の情操、つまり優しさ、人への情愛の念が、枯れている事が、子供達の心にひずみを生んでいきます。日本人は元来、優しくて責任感の強い国民の筈でした。色彩の話は次に。

第1761回例会（2012年8月1日）ニコニコボックスより

産業の米作りに挑戦

もう30年以上前になるか その人物はR・Tと名乗り、夏のある暑い日の午後、30人の若い集団の中に現れた。これから後は、不肖R・Tと呼ばれる私が話してまいります。当時、世界は、半導体産業^{れいめいき}の黎明期を経て、勃興期^{ぼっこうき}の熱の渦中にありました。特に産業の米と呼ばれた数ミリ角に、100万の電氣的機能を持つ回路の集積部品の製造に、世界中が、全国力を投じていました。その産業の米、つまり製米機^{せいまいき}の需要が極大となる。その製米機に必須の部品をMFC^{エムエフシー}と言って、人間の心臓に相当する要^{かなめ}の部品を造る企業が当社でありました。元来、アメリカの独占品であったものを、この企業で国産化、しかし、まだ世界需要の数%の販売量。さて、ここから話の本番、下手な考え休むに似たり——と言う事もありますが、1年間の真剣な沈思黙考^{ちんしもっこう}、数名の技師達の脂汗^{あぶらあせ}と脳みそを絞り出し、この掌^{しほ}に^{てのひら}乗る、重要な米作り用の部品に対して、2ヶ所の、超重要な心臓の弁に相当する個所に大変革を加えました。心臓の性能は、飛躍^{ひやくてき}的に向上し、ここで、米国製と大きな優位性を得ました。——とこれで売上が増えたか、それ程話は甘くなかった。お客様、性能が向上しました。そりゃあ結構。R・T達の本当の人生はここから始まったのです。又しばらくして。

第1762回例会（2012年8月8日）ニコニコボックスより

女性の強さを見よ

戦略、戦術、予知力、対応力、更に瞬発力、総合発信・受信能力（活動中の）——オリンピックが始まり思うこと。これに、体力、精神力、団結力、が加わって、日本サッカーチームは、最高に、その持つ技術が発揮されるに違いありません。上のアイテム^{そな}を備える事は、私達の企業活動にも必須であり、最適のリーダーに恵まれれば、企業の発展はきっと約束されると思います。この様に、日本勢は、女性チームが予想以上に優勢らしく、そうであれば、日本は、まことに、疑^{うたが}も無く、世界の中の真正平和国家と言え

るでしょう。

第 1763 回例会（2012 年 8 月 8 日）ニコニコボックスより

日本人の美意識

銀座四丁目を中心に、オリンピック・メダリストの大パレード。それを囲む 50 万人の大歓声、赤い制服、老若男女の両方の見事な日本人の歓喜の顔、それを迎える 1 人 1 人が絵になる顔、これは素晴らしい日本民族の最高の魂、自然の美德の表現でした。街を埋め尽くした群衆の、これ又、その整然さ、50 万人の！ その日、どこかの国では、他国の国旗を足蹴にして火をつける。口に罵詈雑言の群衆、国のトップの口から出る聞くに耐えない、否紳士の文言に、恥の文化を尊ぶ日本民族の輦轡を買う。

何れにしても、この日本の美意識の対極にある異文化の、この距離感に溜息をつき、日本文化の礼儀正しさと優しさに、心から誇を感じます。

第 1764 回例会（2012 年 8 月 22 日）ニコニコボックスより

前例超越にはワケ、必要

黒を白と言い張るのは正義に反する。黒を赤にするのは、訳がある。30 年前、半導体産業の勃興期、産業の米と言われた数ミリ角の電気回路部分を作る装置に組み込まれる、MFC という部品、全て米国製であったものを国産化し、新たに改造して大きく高性能化した。しかし、世界は、安定・慣例を優先して新参者には狭き門でした。しかし世の中何でもその通り、十分満足されている所へ突入するには、人間の感性に訴えて、こちらを向かせること、例えそれが無機質な金属の塊であっても、人間が使う以上、人の心に響く要素が欲しい。大体この種の機器は、何物にせよ、皆真っ黒に塗られている。ブラックボックスなどと呼ばれて、使う人間に対しても、お前達は知る必要はない、性能さえ出ていれば、黙って使えと言わんばかりの無表情さではないか。R、T は、この事に気が付いた。この機器、この黒いだけの金属の箱には表情が無い、半導体製米機の心臓に相当すると言われながら、何と言うつまらぬ顔をしているのか、使うのは人間だぞ、使われる側の機器にだって、主張したい事はあるだろう——

R・T グループには一つの思いが閃いた。R・T が代表して思いを口にした。年、数百億の売上げを担う事になる道への一歩でありました。「前例がないからやってみよう」——とは言っても、そうする理由がなければならぬ。そこが面白い所でありました。又

第 1765 回例会（2012 年 9 月 5 日）ニコニコボックスより

熱中する性分

ACT の皆さん、お元気ですか。小生、過日、急に熱中症を発症し救急室でダウンしてしまいました。何事にも熱中しない様に、しばらく休憩いたします。ご免なさい。

第 1765 回例会（2012 年 9 月 5 日）ローターアクトボックスよ

おもちゃ？ばかにしてはいけないその力

半導体製造に欠かせない MFC とする部品、^{てのひら}掌に乘る程の、黒い金属箱。中味の超精密の仕掛けを 2 ヶ所改変、性能は 2 倍に向上。世界中が、米国生まれを、使用。そこに、日本製の高性能を売り文句に参入。反応は「足りています」しかし、この客の言い分に、はっとします。このブツの開発グループ R,T は、「人の持つ特性」に気が付く。「客の感性を^き覚ませ」人は、見た目で、何かを感じる、と言うこと——ここまで前回、書いて参りました。この重要物が単に金属の手に乗る位のまっくろな黒い箱であり、重たいだけで何も面白味がない。しかし、当時は 30 万円もして、産業の米、即ち、すごい働きをする半導体を作る力がある。米国製にしか^{りきりよう}関心のない客を、こちらに向かせるにはどうするか、「この箱に、とてつもない大きな^{りきりよう}力量のある」事を、目で見えて感じる様にしよう——先ず箱を真赤に塗れ、次に最高の容姿に^{ようし}形を変身させる。元来、この種の機器は、大きな装置の中に組み込まれて見えなくなってしまうもの、どれも色は黒、形状は四角の箱が相場でありました。R・T のメンバー皆顔を見合せ、そんな突飛^{とっぴ}な事を、おもちゃじゃない、3 流品、恥かしい、売れなかったらどうする。——「前例がないからやってみよう」はここから始まりました。この時販売量は年 1 億円、これが、その内 200 億円になっていく、それには、貴重なワケがあったのです。又。

第 1767 回例会（2012 年 9 月 19 日）ニコニコボックスより

色彩は言語です

モノを買ってもらうには、人の感性に^{うった}訴える事、商品には、人を惹き付ける魂が見えなければなりません。この無味乾燥に見える商品も、大役を果たしている事は判る。しかし目立つ為にまっ赤に塗る事は止めてくれ。オモチャ屋に^{しめんそか}転向か。四面楚歌の中で、この反応は当然。しかし、これにはワケがあり、理屈^{りくつ}があると話し掛け、落付いた所で、まあ聞いてくれ、とっぴでも赤には「力強さ、情熱、高いポテンシャルそして高い仕事能力」のイメージがあり、それを、思わぬ場所に見せつけた製品がある——と言って、同仕事場の前庭へ行く。そこでは、当時、若者向きの数台の自動車の展示場となっていた。ボンネットを開け、エンジンを見せている。その内の 1 台、エンジンのトップカバーがまっかに塗られて、これ見よと^{こじ}誇示されている。この車の設計者の文を雑誌で見ていた。「これはスポーツ仕様の車、外観はおとなしいセダンだが、エンジンの大切な個所バルブを守るトップカバーを赤にする事で、このエンジンの秘めたるポテンシャルを、目に見せたい為に赤と言う色彩に託した」他の並んでいる車のエンジンルームは、まっ黒この 1 台だけ^{いさい}異彩を放っていた。かなり大きな横長のカバーは、このブルーバード 3S という小型車と、その背後に居る設計者の強い意志と情熱、人間性も見えて話し掛けて来るものを感じ取りました。R・T のメンバー、じっと見入っている。この意表を^{いひょう}衝くイロ道はやがて MFC の原産地へ、アメリカで「レットワン」とニックネームで呼ばれる人気商品となっていく。それ迄にイケメンにしなければそこ迄が又、大変。次に

第 1768 回例会（2012 年 9 月 26 日）ニコニコボックスより

花婿の誕生

会員の結婚祝い、貰^{かんろく}禄充分の OB・OG も駆け付けて、すばらしい宴^{うたげ}。7年前、破れパンツから脛^{すね}を出してやって来たあの再建チャーターメンバーの学生風大介君、今や輝く花婿姿。ACT のこの変身^{かんがいむりよう}に感慨無量。全 ACT 家族にいつ迄も幸あれ。

第 1768 回例会（2012 年 9 月 26 日）ローターアクト・ニコニコボックスより

驚嘆の演技力

赤色には潜在能力^ひが秘められて、情熱^{はつろ}発露の予感がする。車の赤く塗られたエンジントップの赤色が 6,000 回転との説明^{たちま}に忽ち、その性能^{なつとく}に納得。今迄の MFC は、間も無く赤い意匠になる。次に、このただの四角の箱をイケメンにしたい。それには、一つのヒントがあります。90 年間、今だに最高の機械美を誇っている小さな BOX、それはバルナックタイプのカメラ、ライカです。上面は楕円、左右は半円で構成される精密^{あふ}感溢れる機械の代表。専門デザイナーに主旨を伝えて創り上げた今迄の MFC は、正に赤いマントにくるまったイケメンの颯爽^{さつそう}とした騎士^{ナイト}か、或いは、屹立^{きつりつ}する（そびえ立つ）曲線に包まれた優美な建造物のミニチュアとも見える。これであの無機質の箱は文学的な魂を持つ赤いユニフォームを纏^{まと}ったイケメンボーイとなりました。その後、発祥^{はつしょう}の地アメリカで「レッドワン」この赤いヤツと親しく呼ばれる迄、その過程を演出した若い男女大勢のスタッフの驚嘆^{きょうたん}する様な演技力と求心力^{きゅうしんりよく}に魅せられここで一つの哲学を教えられる事になったのです。又、

第 1769 回例会（2012 年 10 月 3 日）ニコニコボックスより

生命力を得た赤い小箱は発祥の地へ

情熱を秘めた赤の外装に包まれ、伝統的造形美^{いだ}に抱かれた超精密製米機は、世界の需要の 50% を満たす迄になります。世界の 2 ヶ所で毎年開催される半導体製造装置の大展示会では、数万人の入場者を迎え、ブースの舞台の上では、女性説明員が赤いコスチュームに身を包み、掌^{てのひら}に乗せた「レッドワン」を高高と持ち上げ、歌い上げている、その瞳^{ひとみ}はらんと光っている。来場者の群の手には、配布した資料を入れた大判の紙袋。そのまっ赤の面に、まっ白に飾り文字を入れた広告塔が歩いてくれる。何千人の広告塔か。赤い小箱^{あゆ}の歩み^{たど}を辿り、最終、彼の発祥の地、アメリカで世界の需要^{こた}に十分応えられる顔として受容された。「前例が無いからやってみよう」が、このグループのモットーでありました。山中教授も、ノーベル賞受賞には、「例が無い事をやり通した」成果である筈です。しかし、重要な事はやみくもに突走る事では無く、やる手段には必ず論拠が必要です。その進展によって周囲の目は次第に大きく輝いて来て、同じ輪の中に参加して来て、事は成り立って行くものであります。そしてその過程で、必ず大きな副産物に出会う事になるのです。又。

第 1770 回例会（2012 年 10 月 10 日）ニコニコボックスより

老人と若者；情熱の米作り

世の中の商品、色を替え、見た目を美形^{びけい}にすれば人は買うか、それは無い、機能は高

いか——最初に申しました通り、この中に超精密な秘密部品が考案されて、装着されています。既製のものより、極度に高性能化され、入魂されています。人の感性を刺激した外観はこの性能によって、初めて、世に一つの生き者として認識されました。更に、拘わって来た思い入れは、次第に一心同体となり、生産からユーザーに渡る迄の流れは、若者達の熱気と爛爛とした眼光と共に滔滔と音を立てて、目的地へと殺到しました。その頃の事、この事態に無我の境地で働く若者の輝く目を、これ又毎日来てじっと見つめる老人がいました。旧満州の事業所で、終戦の混乱時、ロシヤ兵の向ける自動銃の前に立ちはだかり、従業員を守った勇者、縁あって知友となり、交流。その氏が、この若者達のあの目の光を後世に残したい。最高の場所を指定して欲しいと——時は過ぎ、やがて、半導体の「島」と呼ばれた九州の阿蘇外輪山の麓の広大な地に無塵室を持つ近代工場を建設した。風光明媚は、輝く目の若者と似合う。この彼等への贈り物に、何一つ代償を求めない白髪の翁はこよなく日本の若者を愛し、日本を案じ、新潟出身で酒を飲めば、美空ひばりを唄う。工場には、必ず日の丸を立てる。阿蘇の空に国旗が翻った時、翁は感慨深かげに、目を細めて仰いだ。亡くなって20年、満州で身を賭して日本人を守った翁を思う時、何故か日の丸を思い出す。赤は情熱を表すと申しました。そこで日の丸を見よ、白地即ち冷静・清廉潔白の精神を表す白に囲まれて秘めたる情熱の旗である事を。翁の墓は、御室五智山蓮華寺*に生前建て、眠って頂く事にしておりました。世界の半導体による、産業の米は、日本の若者によって大きく、今も支えられている。*

会友、桑田善照名誉住職のお寺

第1772回例会（2012年10月17日）ニコニコボックスより

カリスマへの憧憬

今、世界の主要国に、カリスマが居なくなった時代だと言われています。近々、トップの替わる国があります。合法的に選出されても、決してトップ＝カリスマではありません。結局、今、地球上のトップの地位に居る人々に欲しいものは、「大きな、人間味、人間性」だと思います。カリスマは、人を魅了する資質を持ったリーダー、ああ日本に欲しい。

第1773回例会（2012年11月7日）ニコニコボックスより

トップ二つの要訣、創造力と見識

日本の大きい製造企業が、まさかの苦境に陥っています。その徴候は、ソニーの頃からありました。トップが、物の創造をしなくなって、管理社長になって行きました。社長は1人と思うなかれ、創造する社長と管理する社長とが居ればよろしい。それがソニーでした。しかし、人間には寿命がある。引継は人間の知恵で成否が決まります。政治も含めて日本に必要な事。

第1774回例会（2012年11月14日例会）ニコニコボックスより

ロータリアンに停年は無い

もう早や師走の気配が漂って来ます。街は慌しい音響に覆われ、気分——そうか、

浮く人、沈む人、平静な人。人間の情緒の、広い巾の^{しんぶく}振幅に社会が最も劇場化する季節、ロータリアンはいつも、冷静であります様、この年令巾の広いロータリー社会、ロータリアンには停年は無い、高貴高齢者と自称しながら思う事、ロータリアンは絶対「^{ばんせつ}晩節を^{けが}汚さぬ事」を、いかに呆けても、気をつけようーとご同輩、今後ともよろしく。

第 1775 例会 (2012 年 11 月 21 日) ニコニコボックスより

魂を持たない模倣は負ける

IM 関係 Speech、本日、欠席、お詫び申し上げます。

過日迄の黒赤物語には、^{こじつだん}後日談が、いくつか残り、多くの貴重な教訓を得ました。時を見て少しずつ申し上げます。よろしく。

アメリカ人は気に入って受け入れる事柄、事態には、よくおや指を立てて、了承の意を表します。この赤い BOX には、OK「^{いく}レッドワン」と言っておや指を立てて、全機能を受諾しました。その後、1年以内に、^{いく}幾つかのメーカーからグリーン、黄色、白などに塗られた外観の、類似 BOX が出現しました。信号機だと叫ぶ同志達。感性を刺激する色彩スタイル、隠れた超機能のミクロンオーダーの動作をする分子レベルの物質構成機能。これが、あって始めて「レッドワン」は生き者として、大きな働きをするのです。信号機を作る事で満足か。まだ他に数十年分の勉強を2年でやる様な事態が生じました。又。

第 1776 回例会 (2012 年 11 月 28 日) ニコニコボックスより

今年も西北、花と華、満開

西北 RC・娘・息子のアクト達、今年も懸命に働きました。終わり良ければ、次の始まりも又楽し。親は「年次寄付」「財団の友」「100 ドルクラブ」更に「増強優秀」クラブ。子は「地区1番」クラブと。親が元気なら子も元気。^{はなまる}皆花丸クラブとは、全部の努力。

ロータリーに停年無し、若者と^{じにん}自認する会員は「人生に花を」植えて行かれよ。高貴高齢者と自認する会員は「^{ばんせつ}晩節の^{はな}華」を咲かせましょう。

今年、わが西北ロータリーの全家族、事務局、ピアノの先生達、全舞台にブラボー！

第 1777 回例会 (2012 年 12 月 5 日例会) ニコニコボックスより

ロータリーに駆せる動機、ノブレス・オブリージュ[※]

年の終りに再度、ロータリアンの人間像は、しっかりした自己の魂、人の為と言う信念の確立。

若いロータリアンは、^{じんせいこうろ}人生行路に花を植えられよ。^{じにん}自認高貴高齢者ロータリアンは、人生^{ばんせつ}晩節を^{けが}汚さず、人生^{はな}晩年の^{かざ}華を飾られよ。全ロータリアンとして、常に持つべきは、人間としてのプライド、やはりひと言の表現では「^{ノブレス}noblesse ^{オブリージュ}Oblige」、古くても^{かま}構わない、他にひと言でどんな表現があるか。各種、^{きよきん}醸金・奉仕行為の精神的 ^{モチベーション}動機 となっています。

ご同輩 2013 年もどうぞよろしく ※ 己の社会的地位に見合う社会への責務

第 1778 例会（2012 年 12 月 12 日例会）ニコニコボックスより

継続は力、名門への過程

アクト達、来年は、又スタート、再建 ACT の 1 番クラブの真価とは。末長く、継続出来る事。継続する為には、現クラブ全員の努力だけでなく、OB・OG としての親密かつ、いつ迄も続く共同体としての、一族意識を維持し続ける事が、歴史のあるアクトクラブとなるコツであります。再建は立派に完成した。次のステージ、将来に向け、老舗になる為のコツ。親のロータリアンには、立派な例が多数、輝いています。手本は目の前に。

第 1779 回例会（2012 年 12 月 12 日例会）ローターアクト・ニコニコボックスより
老舗には、品性と哲学がある

先週のクリスマス合同例会と、パーティーは、ご苦労さま。強力な若者のエネルギー、西北は原子力無しで運営できそう。西北アクトは、今後、自然に永續できる手法とプログラムを、知恵を絞って行こう。老舗クラブになる為の、アイデアを皆で出そう。2013 年は、その第一歩が始まります。

第 1779 回例会（2012 年 12 月 19 日例会）ローターアクトボックスより

人生は出会い

詰襟の学生服で九州・四国から就職でやって来たかれらから、次々と停年になりまたと年賀状が来ます。そうかと感無量。年賀の最高齢は 90 歳、矍鑠たる文字で「人生出会いなり」と言っています。70 年に近い昔陸軍中野学校の出身。あの謎に満ちた数奇な経歴の中で、一体どんな出会いがあったのか、昭和は遥けし彼方なり。あらためて、おめでとうございます。今年もよろしく。

第 1780 回例会（2013 年 1 月 9 日例会）ニコニコボックスより

管理は安易、創造は難事

例えて見れば、客足が少なくなったうどん屋、夫婦で相談して、ラーメンもそばもやってみよう。ついでに、スパゲティも。別のうどん店、近頃売れ行き悪い、夫婦でじっくり味見を始め、近頃の味覚の傾向、好みを調べて行った。店の照明、自分達の見栄と表情も、う——ん、と腕を組み。前者が「管理社長」、後者が「創造社長」。新年の日本大企業の社長達の新春講話を聞き、考えて見よう。日本の最近の特質とは。

第 1781 回例会（2013 年 1 月 16 日）ニコニコボックスより

後日談

過日の黒赤ストーリーの後日談のひとつに特許に関して、アメリカの当事者との折衝がありましたが、今は遠い話となり教訓が一つ、要訣は、日本の最強弁理士・弁護士兼務のグループの一つを陣営に持つ事。一つは驚嘆の日本技術の深奥を教えられた思い。何と大正 13 年に、今の日本 1・2 位の電気企業が、既に特許取得をしていた事。有用な技術は用途を変えても実に長命であります。さて、も一つ残したい説話。若者の隠れた自立能力、発信・表現能力。「レッドワン」の展示場での当ブースは、常に黒山のひとだけになっていました。この業界で黒を赤にする事自体、異端視される有様、それに、赤いマン

トでレッドワンを掲^{かか}げてコールする美女、この雰囲気^{きふう}を設計、創り上げた男・女若者達、この固^{かた}苦しい業界は従来の日本人の持つ特性が出たもの。実際半導体は先端技術^{せんたんぎじゆつ}、柔軟な発想こそ次の製品を生み出す原動力となる。この男女の弾ける実行力がその後の「レッドワン」の進路を大きく拡大しました。納得^{なつとく}すれば彼等の求心力^{きゅうしんりよく}開拓能力、これはもう大きな喜びでありました。老人は、見ているだけ・・・？いや役目があります。

「前例が無いからやって見よう」と言い続ける事。

第 1782 回例会（2013 年 1 月 23 日）ニコニコボックスより

ここに有るのに、無い！

何十年も前。友人が困り顔で、うちの坊^{ぼく}ず、おもちゃの電車が電池切れで動かない、電池が無くなったのだと言っても、ここに電池はついていると泣きわめく。当時、よく使用済みの電池を分解した。中心に美しい炭素の棒があり、まっ黒なマンガンの粉が大量に出た。炭素は当時の半導体物質、マイクロホンを作って遊んだ。さて無くなった電池をどう説明したのか。B787 のバッテリー騒動、超技術時代に超原始的疑問。これには、どなたが説明を？

第 1783 回例会平安 RC 合同（2013 年 1 月 28 日）ニコニコボックスより

芽吹きの時

いくら若くても寒さは寒い事だろう。やがて芽吹^{めぶ}く時期にそなえて、十分英気を養って下さい。世間は入学試験の幕が開く時、思い出すかな。

第 1783 回例会平安 RC 合同（2013 年 1 月 28 日）ローターアクトボックスより

時代の変革者の死を、若者は悔む

1 昨年 10 月、アップルの CEO スティーブ・ジョブズ氏が昇天し、世界の若者は自国のショップで、i - PHONE を手に持ち、献花しました。貴方の商品に共鳴し、感動し、心から感謝申し上げると。昨年 10~12 月のアップルは、最高の成果を上げながら。最近の i-pad mini を前にしてジョブズ氏後継者クック CEO は、半ば成果を賛歌^{さんか}し、半ば環境の変化を本能的に身に感じ取っていました。1 昨年の 10 月 26 日の本欄にジョブズ氏亡き後のアップルはどうなるのかと記載致しました。彼ジョブズ氏が、世界を変え、世の人を驚かせる商品を作ると、その精神を吐露^{とろ}した時代が、早もうアップルの株価を 35% も下げる現実として立ちはだかりました。世の全ては滔^{とう}滔^{とう}と音を立てて、変化しています。私達の周辺も。ロータリーは、どうありたいのでしょうか――

第 1784 回例会（2013 年 2 月 6 日）ニコニコボックスより

若者は指揮者の心を見ている

運動競技に暴力による指導は不可の烙印、どなたかが「2 番では駄目ですか」と助け舟。

「何を言う、1 番になるべきだ。」と誰かが決める。しかしそのイメージは、馬に鞭を入れる程早く走るだろうと思う心理に行き当たる。若者は指揮者の手ではなく心を見ている。彼らと目標を共有して、常に喜怒哀楽も共有し、個性を見抜き、長所を激賞し、目

標値は彼等自身が決定する様に仕向ける。1 位であらねばならぬと言う決心は、自分自身が決定する価値ある重大な役目である——と宣言してやろう。指導は、やって見せて、褒める事の徹底——と、まあ、いつも見られて。見られていると言う一心同体の信頼感と達成感の醸成^{じょうせい}をして行こう。あの女子サッカーなでしこ軍団は、選手 1 人 1 人が 1 位を目指しているとひしひしと感じます。

第 1785 回例会(2013 年 2 月 13 日)ニコニコボックスより

多様な例会、よい思い出

例会毎におもしろいテスト、実験、あそび、勉強、行儀、作法、座禅、写経などやってくれた。再建以来、百数十回になるケーキの味を思い出したり、なつかしい限り。他クラブの友人達も、今後^{これより}もまだ、連綿と続く、西北 ACT の DNA を大切になされよ。

第 1785 回例会 (2013 年 2 月 13 日) ローターアクト・ニコニコボックスより

疑問を出すオモチャを小供に与えよ

動かないオモチャに、電池が無くなったと言っても、子供は承知しない。無いと言う中味が見たくなる。使用済の電池を分解してしまうのも、この心理です。子供の頃高級な蒸気エンジン付の 30cm 程のモーターボートの模型を買ってもらった。真鍮^{しんちゅう}のボイラーからアルコールランプで蒸気を出し首振りエンジン^{くびふ}を動かす、軽快にスクリュウを回す音に魅せられ、何度か遊んだあげく、この蒸気と言う力を出すボイラーの中味を見たくなった。ある日、このピカピカに輝くだ円のボイラーにブリキ鉢^{はさみ}を入れて、半分に切り裂いた。中は勿論、何も無かった。無残にひしゃげた黄金に輝くボイラーには、当然何も入っていなかった。後で父親は、この輝く残骸と子供の顔を交互に見ていたが、何も言わなかった。子供にとって何も無いと言う事は、とても大事な発見です。インド人が零ゼロを発見して、人類は大きな知恵を得た。子供に、プラモデルではないオモチャを与えましょう。工具類も与えましょう。オモチャを改造し、分解し、叩きこわす所を、じっと見ていましょう。成長すれば、きっと自動車の修理をするでしょう。そして、又日本は、創造する人物を輩出する国となるに違いありません。

第 1786 回例会 (2013 年 2 月 20 日) ニコニコボックスより

小供の時から美しい言葉に接しよう

早春賦^{そうしゅんふ}という歌、子供の歌であるのに、何とむつかしい歌詞^{かし}、春は名のみの風の寒さや——昔の子供は立派に歌った。春と聞かねば知らでありしを、聞けば急かるる、胸の思いを—— ACT よ、君たちの歌ではないか。

第 1786 回例会 (2013 年 2 月 20 日) ローターアクト・ニコニコボックスより

ACT 達の住み屋、二度と停電しない事を誓おう、ご同輩

西北アクト 2005 年 8 月に入会した 6 名から始まり、今年 12 名の会員。昨年 6 月 3 名の卒業、今年 3 名の卒業予定、昨年の卒業生、京都西北ローターアクトに在籍して良かったと、感慨を述べて感涙^{かんるい}と共に去った。今年の卒業予定者も同じく、再建の基礎を固め、自身も十分にアクターとしての人格も身につけた。

当京都西北ロータリアン1人1人の、夫々の立派な経歴に裏付けされたご指導によって、知らない間に当西北RCの文化、DNAを身につけた彼等は今後更に後輩を導き、次の日本の指導的人材になるべく基礎を固めて、羽ばたいて行くでしょう。ロータリアンがアクターを導き育てて行く事は、まことに次の日本を背負う人材を創り上げる、直接的な実に責任ある、尊い行為であると信じます。わがアクトクラブは再建段階から定常活動段階に入りました。今後の歴史あるクラブと認められ、他にも大きく影響を与え、堂々と継続するローターアクトクラブとして歩む段階になったと自覚致しましょう。

もう二度と、停電しないように。

第1787回例会（2013年2月27日）ニコニコボックスより

京都ギオンに初見参

昨年5月、各地からの大学同窓会、夫婦30名、80才超、祇園にて座敷には芸者、舞子、三味線、それに真正^{しんせいほうかん}間と、参加者、今生^{こんじょう}の思い出に大喜び、中に1人、水彩画の特技の持ち主、初めて見る花街の主役達をばっちり目に焼き付け、カメラに収めて帰る。芸・舞子2人の踊りのしな・^{はなまち}姿態を、二副^{にふく}の大きい水彩画に仕上げ、この3月末、兵庫県の某画廊で個展を開く。大型の写真を送って来た。これは見事、驚嘆、美人の表情、手足腰のしな、衣装・背景と、プロに劣らぬ、絵の繊細さは、学生時代に覚えた船の設計図、あの針の先程の点10本の曲線を集中させるL I N S ^{ラインズ} と言う船体独特の製図手法で覚えた感覚と同様だ。当時、お前達は「かまぼこ」と言われた特技、1日中、何カ月も超大型の製図板にへばり付いた生活だった。同窓生全員すばらしい出来だったとの情報が入って来た。その後が、大変でした。次に

第1788回例会（2013年3月6日）ニコニコボックスより

ギオンの真価

前回学友の水彩画、芸・舞妓^{しんたい}の姿態の表現を絶賛^{ぜっさん}した同窓の面面^{めんめん}、京都での豪勢^{ごうせい}で楽しかった今生^{こんじょう}の思いに^{ひた}りながら、ふと我にかえて浮かぶ事は同じ——違う、この絵は違う、美女二人の容貌^{ようぼう}は違う。おうY君よ素晴らしい絵だ、真面目^{せんさい}で繊細で美しい絵だけれどもこれは、この顔、設計図だ、若い時代、徹夜で引いたあの船舶^{せんぱく}の設計図だ。幾何学的に美しい顔の設計図だ、皆それを感じた。しかしあの設計図にも、船の優美^{ふね}さを見せる為に、船はSHEと女性名で呼ばれる。この優美さを出す為に、色々工夫をした。Y君よ頼む、こう言われたくない「画竜点睛^{かりゅうてんせい}を欠く」と偉そうに言っても我々には出来ない。感じる事は出来る。著名画伯^{ちよめい}達の舞妓のえみを含んだあの目、口、頬、これが高価な宝物^{たかば}の1幅の絵となります。ところで、それをY君にどう伝えようか、祇園へ何百回と通う事だ、そりゃあ無理だ——当然だね、しかし、考えられる事がある。貴君はきっと顔を描く時、大緊張^{だいきんちよう}して描いただろう、それをほほえんで又にっこりしながら描いて見られよ——世の中全てにっこりして行えば、ほら、うまくゆくと気が付いたのだが、もう皆、高貴^{おそ}高齢者、遅^ゆかりし由良之助^{のすけ}とは。

第1789回例会（2013年3月13日）ニコニコボックスより

八十にして習う

アンドロイドは人間型ロボット、その顔は、どなたの顔にでも、そっくりに出来ています。最近^{スリーディ}3Dプリンターによって短時間に作成出来ます。対象物を輪切りに捕えて粘土、樹脂等適切な素材を積み重ねて造る。と、奇異な記憶が蘇った。昭和の初め、江戸川乱歩怪奇小説に東京銀座の百貨店、婦人服売場、美しいマネキンの衣装から出る手足のポーズ、と突如、大悲鳴の渦、客の見つめる先には、マネキンの手、生の手。十分ショッキングな幕開けでした。現代の3Dプリンターは人の目、口、耳、鼻部品毎にも、実在人物のソックリさんとして作られます。私達は今アンドロイドと、どう対峙すべきか。私はあの水彩画を仕上げたY君に申し上げたい、やはり舞妓を描くには足繁く京都の花街をゆったり逍遙されよ。きっと身も心も舞妓の心に重なって行き、手は自然にほほえみを湛えた頬を描いて行くでしょう。Y君へのお願いはやっぱり設計図でもアンドロイドでも無く貴君の優しい絵心の発露であります。人間、八十路を超えれば、自分の魂が導いてくれる筈です。益益のご清栄、Y画伯のご精進を。妄言多謝。

第1790回例会（2013年3月27日）ニコニコボックスより

我も悠久の生命を

結婚記念日のRCよりの嬉しいデンファレの鉢、感謝。55年だと。これはどれ程の長さか、思えば、新婚の庭に父は、桜、松の小さな苗2本づつ植えた。その後亡くなる迄、20年間狭い庭に70種類の植樹をした。そして55年後の今、2本の桜は老木となり、花は満開、松は1本枯れ、1本は場違いに五葉の枝を繁らせた。桃、リンゴ、栗、数種の柑橘はどれも、30～40年で終了し、ブドーの木は人為的に消滅した。家内は、昔から、草花を育て30種程が子孫を残している。ここで実は、大変な樹木を父は残して行った。昭和30年過、日本に輸入された、あのセコイヤ、そう、カルフォルニアの森林、幹にトンネルを作って車が通る。あの木の苗を、京都植物園と同時期に買って植えた。この小さな個人の庭に。あれよあれよと言う間に巨木に成長——しつつある。植物園をご覧あれ。驚異の生命力、径は、早くから50センチを超え、電線に触れ、秋の落ち葉は道を埋める。周囲の樹木は小さくなっている。今回の話はここ迄に致します。専門家に処置を依頼し、今は沈静。しかし、生命は保っている。彼にとって、55年は全寿命の微々たる長さ、この地で悠久の生命を永らえてくれるか——結婚55年などもうびびる事はない。

第1790回例会（2013年4月3日）ニコニコボックスより

本はもう一つの自分

一体いつ頃から、面白いと思って本を読みだしたか。吉川英治が、少年向けに「神州天馬峡」を書いたのが昭和11年か。少年の血を沸かして、終結……天正13年は移る一の余韻に子供心が痺れた。同じ作家の「宮本武蔵」は新聞小説、何年続いたのか、終了して8冊の本として発売、最終の佐々木小次郎との死闘は、厳流島運命の果たし合いで、武蔵は舟の櫂を削った木刀、小次郎は、肩に背負った長刀を交わし、小次郎は斃れ、武蔵の赤いはち巻は、切られてはらりと散った。渚を去る剣士は1人、この世紀の死闘を、水の中を

無心に泳ぎ回る小魚に例えて、無常を描写する著者の言葉に魅せられ、その後3回読み、本は後世に出た保存版6冊を買う事になった。小学6年から中学2年の事。同じ頃、岩波文庫の「東海道中膝栗毛」、淋しい夜汽車の4人座席をゆったり使って、何度もしのび笑いをくり返して夜を明かした。これはちょっぴり大人の味。これも年月を経て3回。あつ、ここで本題。戦後、戦記を100冊を読み、最後に残って魂を締めつけた吉田満著「戦艦大和の最後」100頁程の日本に珍しい戦争大叙情詩、全文、文語体、海軍中尉吉田満氏は、艦と共に海中に沈み奇跡の生還。22歳でした。又、次に。

第1791回例会（2013年4月10日）ニコニコボックスより

死への価値感

奇跡の生還をした吉田満中尉は、又もや特攻隊員に指名され、土佐の海岸の洞窟に特攻艇と共に、出陣待機中、小生17歳偶然の邂逅※、この事は、その後西北RCともつながりを持ちますが、又の機会に、さてこの「戦艦大和の最後」の中に、大和の特攻沖縄突入の前日の士官同志、年令の層によって明日死ぬ運命に対する、その行為の価値観に大きな差があり、遂に艦上で大乱闘となる。年令による目的への動機の違い、この問題は、死を伴わなくとも、現今も、違いは在る。この事をRに当てはめて考えたいと存じます。5月のスピーチの時に又 よろしく。

※；かいこう 人生の途上、重要な機縁となる出会い。

第1792回例会（2013年4月17日）ニコニコボックスより

ACTは、オーラの世代

惜しくも夭逝した西北ACT先輩、父上の挨拶に、残されたアルバムを見て短くても、生涯で一番息子の輝いていたのはアクト時代でしたと、思わず目頭が熱くなりました。どんなピンチにも、懸命に立ち向かう事、必ず報われる——これがアクトの年代。

第1792回例会（2013年4月17日）ローターアクトボックスより

精神基礎ができた

今期も多くの行事、奉仕、3クラブ締結、海外クラブとの友好行事。研修、ヨット例会……御苦労さま、よくやった。もう早地区大会、卒業式が来る。大切な期間を立派に過ごしたものだ。50年して思い出して見られよ。夢か幻か、否、堅固な基礎を人として築いた事。

第1793回例会（2013年4月24日）ローターアクトボックスより

羨望の的

本日 嵯峨野RCさん、ようこそ、京都の嵯峨野、嵐山他のクラブの方々には、羨ましい名前前の所在地やクラブ名ではありませんか。一度連れ立って、遠くのクラブへ行ってみればどうでしょう。有賀さん、象山先生の足跡、じっくりと、よろしく。

第1796回例会（2013年5月13日）ニコニコボックスより

後輩にリレーを、その魂を

チャーターメンバーの2人、台湾研修で8年のACT生活を締め括った。卒業予定者、皆輝いている、所で頼みがあります。残る後輩達に、更に、新しい後輩を生み、その貴重な山の様なノウハウを、絶対に植え付けて行って下さい。心から頼みます。

第1796回例会（2013年5月13日）ローターアクト・ニコニコ箱より

育った庭に、ご縁あれ

近く、ACTには、今年の地区大会がやって来ます。前夜祭での地区アクターの交流、翌日、本大会と卒業式表彰式。再建後8年目。積み重なる感激。感涙に浸った身をふり返って見よう。「感激なき人生は空虚なり」と今迄よく申しました。感激に満ちた人生は、豊かな人生。8年のACTの航跡には、友情、奉仕、勉学、勤務を通して人生の機微にも触れ、立派な社会性を体得した。京都と言う文化的、評価も高い土地に居て、ACT活動は、知らぬ間に、心身共に色濃い文化の色彩に包まれて、卒業して行く。貴君達、いつかは縁あれば、又この京都西北RCの庭に、縁者も含めて、戻って来て欲しい。待っています。

第1797回例会（2013年5月22日）ニコニコボックスより

今の心が知らぬ間に物語に

キーワード「古都」を絆とした、京都・奈良・鎌倉の三クラブが紡ぎ出す舞台、「三都物語」の完成は、貴君達全会員の、将来の華の事業計画として、OB・OG共々、暖めて行って下さ。いつかの成果を、楽しみにしています。

第1798回例会（2013年5月29日）ローターアクト・ニコニコボックスより

試練はクラブを強くする

2日はACTの卒業式、地区主催、西北は3名のOGを新しく生む事に。学校の卒業式は皆々めでたしと。ACTのそれは、めでたいが、酸っぱい、いちごを食べる感触。昨年からは6名のベテランを失い、試練の時期を通る事になります。OB・OG達よ、君達の出身故郷への強力な魂の注入をお願いします。わがR、会員諸氏にも、将来、我々を支えてくれる次世代育成に、強力なご支援を。

第1799回例会（2013年6月19日）ニコニコボックスより

1800回目の鐘の音、一点毎に歴史あり

音にも四季があります。風鈴の涼しい音色、日本古来の旧懐に思いを馳せる音、小生の田舎の四季、秋は足踏みの脱穀機の音と、冬は又、足踏式・木製餅搗機からの悠長な音、温かくなると、広い蚕を飼う蚕室一面に広がるザーッと言う桑の葉を食む水流の如き音。冷る冬の夜中空になった蚕室の一隅の勉強部屋、夜のしじまを破る断続的な水車の音、階下の牛小屋で牛が角を柱に擦る音、おゝ、生き者の仲間が居るとほっとした心地に戻る——と、音は人生の伴奏を奏でる。ロータリアンの耳には、間もなく又違った音色を気付かせる、新しい期を迎えます。初め、遠りよ勝ちな音、その内澄んだ音色に、又、その日の調子によって、はっとする程大きく、又思いがけずひっそりと、何年に1度かはカラ振りも、そして期末には、落ち付いた余韻で、責務を全うした満足感と、次への心を込めた時期とヤレヤレ感で、

美しい音色が会場に響きます。人は誰も自分だけの胸にある音があります。ロータリーの鐘、一生に何回聞くのか、1回1回、その音色は、人によって皆、違った色をしています。又新しい響きを楽しむ事に致しましょう。

第1800回例会（2013年6月12日）ニコニコボックスより

育てよ人、間違いなくリーダーは育っている

ACT地区大会で感じた事、20年前と比べた。何故これ程、若者がすくなくなっただかと。少子化と言うよりも、どうも社会活動の参加の仕方が流動的な精神構造になっています。気の向いた時に気の向いた種類の自由度の大きい動きを好むらしい。一方、ACT入会后、早々に会長を務め、大丈夫かと思う時期も、しかしあつと言う間に立派にリーダーの重責を全うする。これは、社会の秩序を打ち立て、将来の国の骨格と筋肉を作る元となり人口減少でも、強靱な国家を作る要諦ではありませんか。5年前ガバナーテーマ“育てよう、人”でした。*2009~2010,富田謙三ガバナー

第1800回例会（2013年6月12日）ローターアクト・ニコニコボックスより

西北はもう銘酒となる

自称高貴高齢者は、益々1年が短くなりました。きっと100歳ともなれば、昨年と昨日とは、生理的にも人によっては、極端に密着した感覚となるかも知れません。時間に対する知覚の中からは、これは理に適った道理です。これで、あつと言う間に新しい年度になりました。居心地のよいクラブ活動に、心から感謝申し上げます。わがクラブも、西北と言う名の銘酒の時代！それでも期の初めは新酒の香り、期の終りには、熟成の趣を呈します。新しい希望と言う名の仕込みも、もう間近。皆様、お互いにご苦労さまでした。又よろしく。

第1801回例会（2013年6月19日）ニコニコボックスより

存在感は、ハングリー精神の発動から

日本の各種研究機関からの、学術論文の発表数が低くなっています。日本の存在感に陰りが見えてきます。日本人そのものの影が薄いのです。ゆとりなどと言っていた影響がまだ蔓延しているらしい。全てが日本国内で十分賄えて、快適だったのです。外を見ましょう。満腹は衰退のはじまりです。

第1801回例会（2013年6月19日）ロータリー財団より

男よ、力を取り戻せ

次のACT会長、再建初めての男性と？おゝよく出てくれた。スピーチ中にユーモアが頭に浮かぶ様になれば、1人前、感動、感激の場が演出出来れば、申し分ない。大丈夫、やって見給え、会員皆で応援しよう。

第1801回例会（2013年6月19日）ローターアクト・ニコニコボックスより

若者よ、多くの感動に感謝しよう

22日夕、ACT再建チャーターメンバー女性3名の卒業式。クラブを1人前に育てた母性達。送る後輩会長の感涙に咽ぶ先輩への感謝。去り行く先達への心の内を描写すれば、かの詩人

島崎藤村の「惜別の歌」の一節——別れと言えは昔より／この人の世の常なるを／流るる水をながむれば／夢はずかしき涙かな——続く節は、倫理故に、いつの日か、情趣豊かな舞台上で聞くとしよう。君達を囲む笑顔と歓声の渦に、この人気が行き先を予測している。頂いたバラが君達の人頭と同数、花を大きくつけている。入会から卒業まで、よく努力した。若者よ、感動せよ。感激無き人生は空虚なり。元気でやれよ。

第 1802 回例会（2013 年 6 月 26 日）ローターアクト・ニコニコボックスより

2012～2013 完

編集にあたり

前年度（20012～2013）みな様の推薦を頂き、歴史ある京都西北ロータリークラブの会長の職を、皆さまの協力で一年間務めさせて頂くことが出来た事。本当にありがとうございました。

平成 6 年 8 月に田中靖造会員と寺嶋繁久会員の推薦で西北ロータリークラブに入会させて頂きました。初め頃はロータリークラブの魅力は何かも良く分かりませんでしたが、いろんな立派な人と知り合いになって、いろんな違う世界の人達の、一流の人たちの話を聞きながら、自己研鑽というか、自己発展というか、そういう機会に恵まれ、良い友人がたくさんできた事が一番でした。

一年間の会長職は大変長く感じました。いろいろな事を学び、経験、体験をしました。年間 50 回の例会、小生にとっては一回一回が良い思い出になる有意義な例会でした。

そんな中。人生もロータリーも大先輩である、島崎俊夫会員が毎週の週報にニコニコボックスにメッセージを頂きました。過去・現在・未来といろんな方面からのメッセージ内容で、感心、感動、勉強でした。毎週読むのが楽しみでした。島崎会員の了解を得て一冊の冊子にしました。今一度、目を通して下さい。

ロータリークラブに入会して良かったこと。それは、あなたに会えたこと。あなたの大切な人生の登場人物の 1 人に慣れたことが、本当に嬉しいです。これからもヨロシクお願いします。

京都西北ロータリークラブ

2012～2013 年度会長

西村 篤